

Wi-Fi アダプター

取扱説明書

CBK-WA01

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

権利者の許諾を得ることなく、付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および付属のソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

© 2010, 2011 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。

ハードウェアにトラブルが発生して記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負い兼ねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

目次

概要	4
特長	4
使用例	5
カムコーダーを Wi-Fi 接続できるように設定する	6
コンピューターと Wi-Fi 接続する（アドホックモード）	7
コンピューターの設定	7
接続を開始する	9
無線 LAN アクセスポイントを使用する（インフラストラクチャーモード）	11
無線 LAN アクセスポイント側の設定	11
カムコーダーから無線 LAN を検索して接続する	11
WPS 操作により接続する	12
Web メニューを使用する（PDW-700/F800 のみ）	13
Web メニューを表示する	13
Web メニューの操作画面	13
Wi-Fi 接続を開始する	14
IEEE 802.1x 認証を行う	14
Sony Planning Metadata Add-in の操作	15
プランニングメタデータを表示する	15
Sony Planning Metadata 操作画面	16
プランニングメタデータを作成する	17
プランニングメタデータを任意の場所に保存する	18
プランニングメタデータを任意の場所から読み出す	18
プランニングメタデータをメールで送信する	19
プランニングメタデータをカムコーダーに転送する	20
トラブル時の対処	21

概要

Wi-Fi アダプター CBK-WA01 は、プロフェッショナルディスクカムコーダー PDW-700/F800¹⁾ およびソリッドステートメモリーカムコーダー PMW-500²⁾/350³⁾/320⁴⁾ (以降、「カムコーダー」と呼びます) をコンピューターやモバイル機器に Wi-Fi 接続するための無線 LAN アダプターです。

- 1) ファームウェアバージョン 1.6 以降
- 2) ファームウェアバージョン 1.1 以降
- 3) ファームウェアバージョン 1.3 以降
- 4) ファームウェアバージョン 1.2 以降

特長

3 規格の無線 LAN に対応

本機は、全世界で汎用的に使用できる無線規格 IEEE802.11b/g/n を採用しています。

コンピューターとアドホックモードで接続

屋外での撮影時など無線 LAN アクセスポイントを使用できない場合に、コンピューターとカムコーダーを一对一で Wi-Fi 接続できます。コンピューターとカムコーダーを Wi-Fi 接続すると、カムコーダーからコンピューターにクリップなどのファイルを転送して、撮影現場で編集作業を行うことができます。また、付属のアプリケーション「Sony Planning Metadata Add-in」を使用すると、プランニングメタデータをコンピューターで作成してカムコーダーに転送し、収録するファイル名を設定できます。コンピューターとカムコーダーを無線接続することにより、カムコーダーを自由に設置 / 移動することができます。

インフラストラクチャーモードで LAN に接続

無線 LAN アクセスポイントを介して、複数台のカムコーダーとコンピューターを Wi-Fi 接続できます。複数のカムコーダーにプランニングメタデータを一斉配信したり、複数のカムコーダーを 1 台のコンピューターで一括管理することができます。

Sony Planning Metadata Add-in (付属)

付属の Sony Planning Metadata Add-in をコンピューターにインストールすると、以下の操作が可能になります。

- Microsoft Outlook¹⁾ のタスク機能を利用してプランニングメタデータを作成し、カムコーダーに転送することにより、収録するファイル名を事前に設定する。
- Sony Planning Metadata Add-in で作成したプランニングメタデータを撮影現場のコンピューターにメール添付で送信する。

- Sony Planning Metadata Add-in で作成したプランニングメタデータを、Wi-Fi 接続したカムコーダーにネットワーク経由で直接転送する。
- Sony Planning Metadata Add-in で作成したプランニングメタデータをコンピューター上のハードディスクや他のメディアに保存する。
- 他のコンピューターで作成したプランニングメタデータを読み込む。

また、プランニングメタデータを利用して、XDCAM で対応しているショットマークの名前を任意に変更することができます。(カムコーダーの ASSIGN スイッチにショットマーク機能を割り付けると、任意の名称のショットマークを任意の位置に、記録 / 再生しながら設定することができます。)

Sony Planning Metadata Add-in は以下の動作環境でご使用ください。

OS : Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista または Microsoft Windows 7¹⁾

アプリケーション : Microsoft Office 2003、Microsoft Office 2007、Microsoft Office 2010 (32 ビット版)¹⁾

1) Microsoft、Microsoft Outlook、Windows、Windows Vista および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Live Logging (ライブロギング)

カムコーダーとコンピューターを Wi-Fi 接続すると、ライブロギングを行えます。ライブロギングとは、撮影中のプロキシ AV データをコンピューターに転送し、ロギングする機能です。

ロギングしたデータに対して、次のような操作を行えます。

- カムコーダーの EE 映像や撮影中の映像のプロキシ AV データを表示する。
- 撮影中にメタデータ (タイトルやコメント) を追加 / 変更する。
- 撮影中のクリップにタイトルやコメントを入力する。
- 撮影中の各シーンに適宜エッセンスマークを設定する。

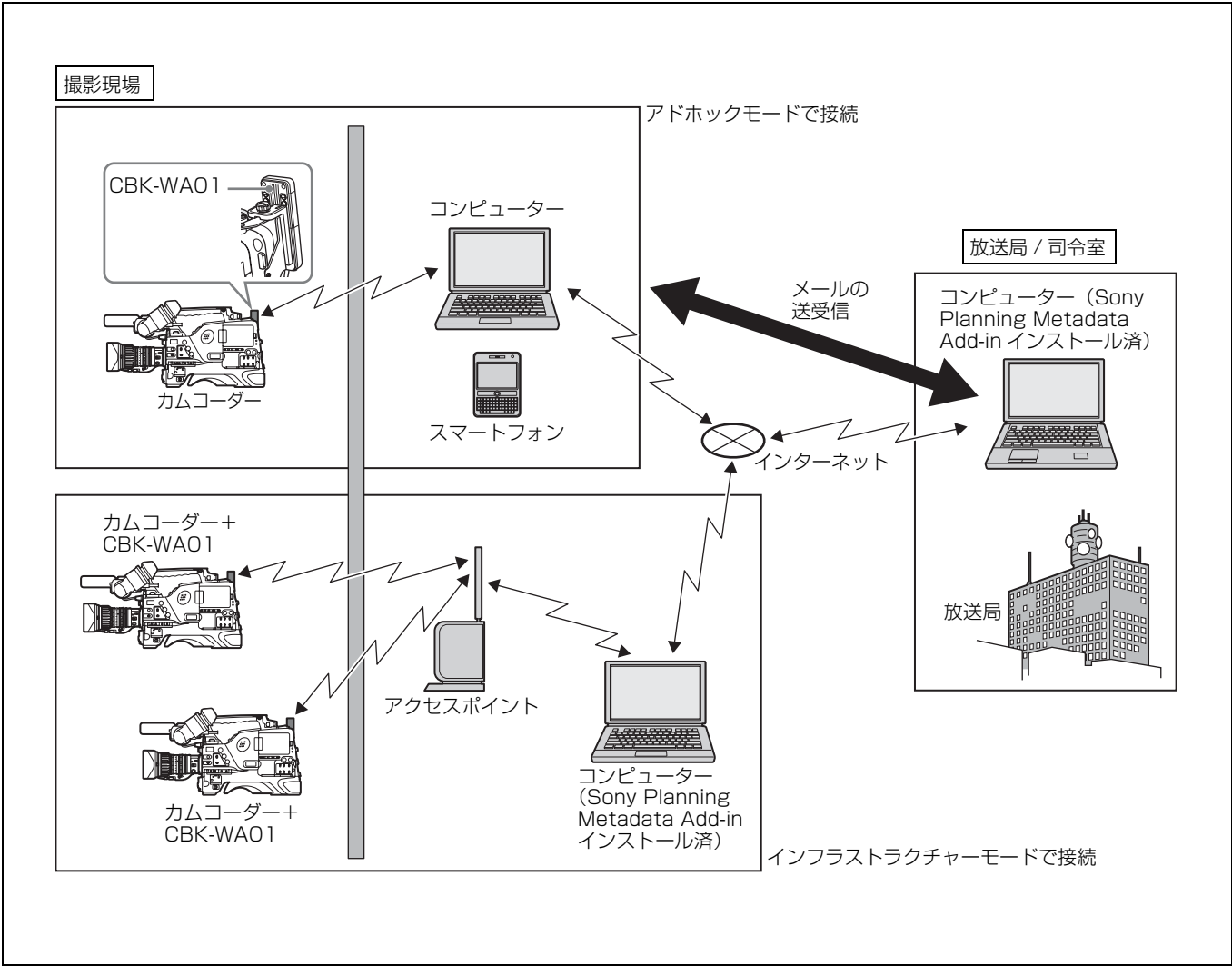
新規に入力、追加、変更したメタデータやクリップリストは、コンピューターからカムコーダーに転送して元のメディアに書き戻すことができます。

ご注意

カムコーダー側でビューモードを選択した場合は、コンピューターとカムコーダー間でメタデータファイルを送受信したり、プロキシ AV データをコンピューターへ転送することができます。ライブモードを選択した場合は、メタデータファイルの送受信のみ可能です。

使用例

CBK-WA01 を取り付けたカムコーダーの使用例を次図に示します。



カムコーダーを Wi-Fi 接続できるように設定する

ご注意

- カムコーダーが Wi-Fi アダプターに対応しているファームウェアバージョンであることを確認してください。

◆ 詳しくは、お買い上げ店またはソニーの営業担当者にお問い合わせください。

- Wi-Fi 接続機能を使用するときは、インストールキーが必要です。インストールキーが入力されていないと、Wi-Fi 接続に関する項目がメニューに表示されません。
- 以下の手順は、PDW-700 を使用する場合の例です。他のカムコーダーを Wi-Fi 接続する操作については、各カムコーダーに付属のオペレーションマニュアルまたは取扱説明書をご覧ください。

◆ PDW-700 のメニュー操作について詳しくは、PDW-700 に付属のオペレーションマニュアルをご覧ください。

◆ PDW-700 をコンピューターに LAN ケーブルで接続している場合は、Web メニューを使用して手順 2 以降の操作行うこともできます (13 ページ参照)。

- 1 OPERATION メニュー の 007 POWER SAVE ページで、以下の設定を行う。

ETHERNET/USB : ENABL

Wi-Fi : ENABL

007	POWER SAVE	TOP
ETHERNET/USB	:	ENABL
i.LINK (FAM)	:	ENABL
REC AUDIO OUT	:	EE
TEST OUT SAVE	:	ON
→Wi-Fi	:	●ENABL

- 2 MAINTENANCE メニューの M23 NETWORK 1 ページで NETWORK SETUP: EXEC を選択し、MENU つまみを押す。

M23	NETWORK 1	TOP
→NETWORK SETUP:	:	EXEC
DHCP	:	DISABLE
IP ADDRESS	:	192 168 1 10
SUBNET MASK	:	255 255 255 0
DEF. GATEWAY	:	0 0 0 0
LINK SPEED	:	AUTO
DUPLEX	:	AUTO
DNS1	:	0 0 0 0
UPnP	:	DISABLE

NETWORK SETTING ページが表示されます。

- 3 NETWORK SETTING ページで、DHCP を「DISABLE」に設定し、IP ADDRESS を設定する。

デフォルトの IP アドレスは「192.168.1.10」です。

oNETWORK SETTING	ESC
→DHCP	●DISABLE
IP ADDRESS	: 192 168 1 10
SUBNET MASK	: 255 255 255 0
DEF. GATEWAY	: 0 0 0 0
LINK SPEED	: AUTO
DUPLEX	: AUTO
DNS1	: 0 0 0 0
DNS2	: 0 0 0 0
UPnP	: DISABLE
SET	

- 4 「SET」を選択し、MENU つまみを押して M23 NETWORK 1 ページに戻る。

- 5 メニューを消す。

コンピューターと Wi-Fi 接続する (アドホックモード)

ご注意

- コンピューターが無線接続可能な状態であることを確認してください。
- アドホックモードでは、IEEE802.11n で接続することはありません。
- データの暗号化方式は WEP を使用してください。

コンピューターの設定

次の設定が必要です。

- カムコーダーとの接続に使用するネットワークを作成する
- IP アドレスをカムコーダーの IP アドレスに合わせて設定する

Windows XP、Windows Vista を使用して、「WF1」という名称のネットワークを作成する場合の操作例を示します。

Windows XP の場合

- 1 [コントロールパネル]>[ネットワーク接続]をクリックする。
[ネットワーク接続]ウィンドウが開きます。
- 2 [ワイヤレス ネットワーク接続]を右クリックし、[プロパティ]をクリックする。
[ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ]ダイアログが開きます。
- 3 [全般]タブで [インターネットプロトコル (TCP/IP)] にチェックを付け、[プロパティ]をクリックする。
[インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ]ダイアログが開きます。
- 4 [次の IP アドレスを使う]をクリックし、次の設定を行う。

IP アドレス：

192.168.xxx.yyy

サブネットマスク：

255.255.255.0

xxx：カムコーダーの IP アドレスと同じ数値

yyy：カムコーダーの IP アドレスと異なる数値

に設定します。

- 5 [OK] をクリックしてダイアログを閉じる。
- 6 [ワイヤレス ネットワーク] タブの [優先ネットワーク] の、[詳細設定] をクリックして [詳細設定] ダイアログを開き、[コンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークのみ] を選択し、[閉じる] をクリックしてダイアログを閉じる。
- 7 [ワイヤレス ネットワーク] タブの [優先ネットワーク] の、[追加] をクリックする。
[ワイヤレス ネットワークのプロパティ] ダイアログが開きます。
- 8 [キーは自動的に供給される] のチェックを外し、次の設定を行う。

ネットワーク名 (SSID)：

任意の名称

ネットワーク認証：

オープンシステム

データの暗号化：

WEP

ネットワークキー：

ネットワークキーの確認入力：

キーのインデックス (詳細)：

1

ネットワークキーは、ASCII 文字の場合 5 文字または 13 文字、16 進数の場合 10 桁または 26 桁で設定する。

例としてネットワーク名を「WF1」、ネットワークキーを「12345」に設定します。

設定例

ネットワーク名 (SSID) :	WF1
ネットワーク認証 :	オープンシステム
データの暗号化 :	WEP
ネットワークキー :	12345
ネットワークキーの確認入力 :	12345
キーのインデックス (詳細) :	1

ご注意

Windows Vista のコンピューターの場合、WEP キーは 1 のみ対応しています。Windows Vista のコンピューターと Windows XP のコンピューターを混在して使用するときは、必ずキーのインデックスを 1 に設定してください。

- 9 [OK] をクリックして [ワイヤレス ネットワークのプロパティ] ダイアログを閉じる。

[ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ] ダイアログの [優先ネットワーク] 一覧に [WF1 (自動)] が表示されます。

- 10 [OK] をクリックしてダイアログを閉じる。

ご注意

カムコーダーとの Wi-Fi 接続を行わないときは、IP アドレスの設定を自動取得 (手順 4 で「IP アドレスを自動的に取得する」を選択) し、手順 6 で「利用可能なネットワーク (アクセスポイント優先)」を選択してください。

Windows Vista の場合

ネットワークを作成するには

- 1 [スタート] > [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] ウィンドウを開く。
- 2 [ネットワークとインターネット] の [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックして、[ネットワークと共有センター] ウィンドウを開く。
- 3 [タスク] エリアで、[接続またはネットワークのセットアップ] をクリックして、[接続またはネットワークのセットアップ] ダイアログを開く。

- 4 [ワイヤレス アドホック (コンピュータ相互) ネットワークを設定します] をクリックして、[次へ] をクリックする。

- 5 [次へ] をクリックする。

- 6 次の設定を行う。

ネットワーク名 :	任意の名称
セキュリティの種類 :	WEP
セキュリティ キーまたはパスフレーズ :	

セキュリティ キーまたはパスフレーズは、ASCII 文字の場合は 5 文字または 13 文字、16 進数の場合は 10 桁または 26 桁で任意に設定する。

例としてネットワーク名を「WF1」、セキュリティキーを「12345」に設定します。

設定例

ネットワーク名 :	WF1
セキュリティの種類 :	WEP
セキュリティ キーまたはパスフレーズ :	12345

- 7 [このネットワークを保存します] をチェックして、[次へ] をクリックする。

- 8 WF1 の設定が完了したことを確認し、[閉じる] をクリックして [接続またはネットワークのセットアップ] ダイアログを閉じる。

IP アドレスを設定するには

- 1 [ネットワークと共有センター] ウィンドウの [タスク] エリアで [ネットワーク接続の管理] をクリックし、[ネットワーク接続] ウィンドウを開く。

- 2 [ワイヤレスネットワーク接続] アイコンを右クリックし、ポップアップメニューで [プロパティ] をクリックする。

[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] ダイアログが開きます。

- 3 [ネットワーク]タブで[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] をクリックし、[プロパティ] をクリックする。

[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ] ダイアログが開きます。

- 4 [次の IP アドレスを使う] をクリックし、次の設定を行う。

IP アドレス:	192.168.xxx.yyy
サブネットマスク:	255.255.255.0

xxx: カムコーダーの IP アドレスと同じ数値
yyy: カムコーダーの IP アドレスと異なる数値

に設定します。

- 5 [OK] をクリックしてダイアログを閉じる。
- 6 [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] ダイアログで、[閉じる] をクリックしてダイアログを閉じる。

ご注意

カムコーダーとの Wi-Fi 接続を行わないときは、IP アドレスの設定を自動取得にしてください (手順 4 で「IP アドレスを自動的に取得する」を選択)。

接続を開始する

「コンピューターの設定」(7 ページ) で作成した「WF1」のネットワークで、コンピューターとカムコーダーを接続します。

ご注意

以下の手順は、PDW-700 を使用する場合の例です。他のカムコーダーを Wi-Fi 接続する操作については、各カムコーダーに付属のオペレーションマニュアルまたは取扱説明書をご覧ください。

- ◆ PDW-700 のメニュー操作について詳しくは、PDW-700 に付属のオペレーションマニュアルをご覧ください。
- ◆ PDW-700 をコンピューターにイーサネット接続している場合は、Web メニューを使用して手順 2 以降の操作行うこともできます (14 ページ参照)。

- 1 コンピューターで接続を開始する。

Windows XP の場合

[ネットワーク接続] ウィンドウで[ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックし、[利用できるワイヤレス

ネットワークの表示] をクリックする。[ワイヤレス ネットワーク接続] ダイアログで[WF1] をクリックし、[接続] をクリックする。

Windows Vista の場合

[ネットワークと共有センター] ウィンドウの[タスク] エリアで、[ネットワークに接続] をクリックする。

[ネットワークに接続] ダイアログで[WF1] をクリックし、[接続] をクリックする。

- 2 カムコーダーで、MAINTENANCE メニュー > M26 Wi-Fi ページの Wi-Fi SETUP: EXEC を選択し、MENU つまみを押す。

```
M26Wi-Fi TOP
→Wi-Fi SETUP :D EXEC
Wi-Fi STATUS : [-----]
WIRELESS MODE: ----
SSID: (unknown)

NETWORK TYPE : ---
CH : --
AUTH : ----
ENCRYPTION : ----
```

Wi-Fi SETTING ページが表示されます。

```
Wi-Fi SETTING ESC
→SCAN NETWORKS:D EXEC
SSID: 00:13:A9:68:D7:47
NETWORK TYPE : ADHOC
CH : 1
AUTH : OPEN
ENCRYPTION : DISABLE

SET
```

- 3 SCAN NETWORKS: EXEC を選択し、MENU つまみを押す。

NETWORKS ページが表示され、カムコーダーが接続先ネットワークの検出を開始します。

ネットワーク (WF1) が検出されると、次のように表示されます。

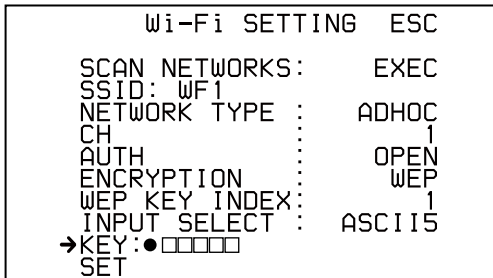
```
? P00•NETWORKS SCAN ESC
→01.SSID:WF1

TYPE: ADHOC LUL : 4
MODE: 802.11b/g

02.SSID:

TYPE: INFRA LUL : 1
MODE: 802.11b/g
```

- 4 WF1 を選択し、MENU つまみを押して Wi-Fi SETTING ページに戻る。



ネットワークが見つからないときは

NETWORKS ページで「ESC」を選択して MENU つまみを押し、Wi-Fi SETTING ページに戻ります。以下の項目を設定して、接続先のネットワークを指定します。

SSID (ネットワーク名) : WF1
 NETWORK TYPE (接続モード) : ADHOC
 CH (チャンネル) : 1
 AUTH (ネットワーク認証) : OPEN
 ENCRYPTION (データの暗号化) : WEP
 WEP KEY INDEX
 (WEP キーインデックス) : 1
 INPUT SELECT (ネットワークキー
 (またはセキュリティキー) の入力形式) : ASCII5

ここではキーを「12345」に設定しているため
 ASCII5 を選択

キーが ASCII 文字で 13 文字の場合 : ASCII13

キーが 16 進数で 10 文字の場合 : HEX10

キーが 16 進数で 26 文字の場合 : HEX26

ご注意

Windows Vista のコンピューターの場合、WEP キーは 1 のみ対応しています。Windows Vista のコンピューターと Windows XP のコンピューターを混在して使用するときは、必ず WEP KEY INDEX を 1 に設定してください。

- 5 KEY を、コンピューターで設定したネットワークキー (またはセキュリティキー) に設定して、MENU つまみを押す。

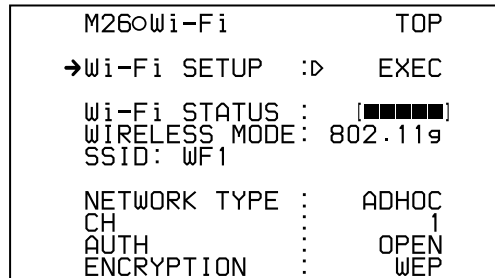
ここでは、例として「12345」に設定します。

KEY : 12345

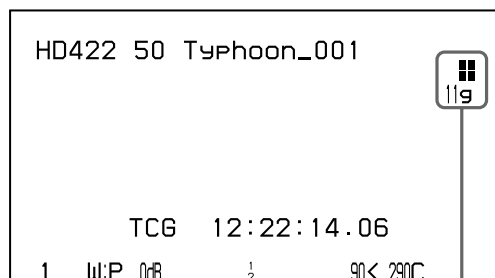
- 6 SET を選択して MENU つまみを押す。

M26 Wi-Fi ページに戻り、カムコーダーが接続を開始します。

コンピューターとの接続が完了すると、表示が次のように変わります。



メニューを終了すると、画面右上にカムコーダーが正常に無線接続できたことを示す 4 つの ■ と「11g」 (または「11b」) が表示されます (Wi-Fi ステータス表示)。



Wi-Fi ステータス表示

Wi-Fi ステータス表示は、カムコーダーの無線接続の状態に応じて変わります (次項「Wi-Fi ステータス表示」参照)。

ご注意

手順 3 ～ 5 の操作中に、コンピューター側の接続が切断されることがあります。その場合は、再度手順 1 を行って接続を再開してください。

Wi-Fi ステータス表示

LCD モニター画面右上の Wi-Fi ステータス表示は、カムコーダーの無線接続の状態に応じて次のように変わります。

ステータス	表示	無線接続の状態
1	なし	本機が動作していない。
2	✕	無線 LAN が接続していない。
3	点滅	無線 LAN の接続動作に入っている。
4	点灯	無線 LAN の接続が完了した。

■ ■ ■ ■ : 受信レベル
 11n/11g/11b : 無線 LAN 規格

接続を切断するには

Windows XP の場合

[ネットワーク接続] ウィンドウで [ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックし、[利用できるワイヤレス ネットワークの表示] をクリックします。[ワイヤレス ネットワーク接続] ダイアログで [WF1] をクリックし、[切断] をクリックします。

Windows Vista の場合

[ネットワークと共有センター] ウィンドウの[タスク]エリアで、[ネットワークに接続]をクリックします。[ネットワークに接続]ダイアログで[WF1]をクリックし、[切断]をクリックします。

工場出荷時の設定に戻す（リセットする）には

うまく接続できない場合や設定をやり直したい場合は、Wi-Fi 接続に関する設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

- 1 MAINTENANCE メニューの M24 NETWORK 2 ページで、NET CFG RESET: EXEC を選択して MENU つまみを押す。

```
M24oNETWORK 2      TOP
→NET CFG RESET :▷ EXEC
MAC : 00:13:A9:68:D7:47
```

カムコーダーの MAC アドレス

「RESET DATA OK?」が表示されます。

- 2 リセットを実行するときは、「YES」を選択して MENU つまみを押す。リセットを取り止めるときは、「NO」を選択して MENU つまみを押す。

```
M24oNETWORK 2      TOP
RESET DATA OK? →YES NO
→NET CFG RESET :▷ EXEC
MAC : 00:13:A9:68:D7:47
```

リセットが実行されると、「COMPLETE」が表示されます。

カムコーダーは、MAC アドレスを SSID とするネットワークに対して接続を試みている状態になります。

無線 LAN アクセスポイントを使用する（インフラストラクチャーモード）

無線 LAN アクセスポイントを介してカムコーダーを LAN に接続するときは、カムコーダーのメニューで接続先の LAN を検索するか、WPS（Wi-Fi Protected Setup）操作を行います。

IEEE 802.1x 認証を行うときは

IEEE 802.1x 認証を設定している LAN に接続する場合は、Web メニューを使用します（14 ページ参照）。

無線 LAN アクセスポイント側の設定

次の設定が必要です。

項目	設定
ネットワーク ID (SSID)	例：WF_net
暗号化方式	例：WEP
ネットワークキー	任意に設定 ASCII 文字の場合：5 文字または 13 文字 16 進数の場合：10 桁または 26 桁

- ◆ 無線 LAN アクセスポイントの設定操作については、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

カムコーダーから無線 LAN を検索して接続する

「接続を開始する」（9 ページ）の手順 2 以降を行って、接続先ネットワーク（WF1）の代わりに無線 LAN（WF_net）を選択し、アクセスポイントで設定したネットワークキーを入力して接続します。

ご注意

上記の手順は、PDW-700 を使用する場合の例です。他のカムコーダーを Wi-Fi 接続する操作については、各カムコーダーに付属のオペレーションマニュアルまたは取扱説明書をご覧ください。

- ◆ PDW-700 をコンピューターに LAN ケーブルで接続している場合は、Web メニューを使用してアクセスポイントを検索することもできます（14 ページ参照）。

WPS 操作により接続する

ご注意

- アクセスポイントが WPS に対応していることを確認してください。
 - 以下の手順は、PDW-700 を使用する場合の例です。メ
ニュー番号はカムコーダーの機種によって変わることが
あります。
- ◆ PDW-700 のメニュー操作について詳しくは、PDW-700 に付属
のオペレーションマニュアルをご覧ください。
- ◆ アクセスポイント側の操作については、アクセスポイントのマ
ニュアルをご覧ください。

WPS 操作モードを選択するには

MAINTENANCE メニューの M25 WPS ページで WPS
MODE (WPS モード) を設定します。

プッシュ方式を使用する場合：ONE PUSH

PIN コードを入力する場合：PIN CODE

→M25●WPS	TOP
Wi-Fi	: ENABL
WPS MODE	: ONE PUSH
WPS START	: EXEC
WPS STATUS	: -----

「PIN CODE」を選択すると、カムコーダーの PIN コード
が表示されます。

M25○WPS	TOP
Wi-Fi	: ENABL
→WPS MODE	: ●PIN CODE
PIN : UPDATE	: 59267881
WPS START	: EXEC
WPS STATUS	: -----

PIN コード

プッシュ方式で操作するには

- 1 WPS START : EXEC を選択して、MENU つまみを押
す。

「EXECUTE OK?」が表示されます。

- 2 「YES」を選択して MENU つまみを押し、アクセスポイ
ント側で WPS 操作を実行する。

接続が完了すると WPS STATUS の表示が「OK」に変
わります。

PIN コード入力で操作するには

- 1 「PIN CODE」を選択したときに表示された PIN コード
を、アクセスポイントに入力する。

- 2 WPS START : EXEC を選択して、MENU つまみを押
す。

P00 ACCESS PNT 画面が表示され、アクセスポイント
が検索されます。

- 3 検索結果が表示されたら、接続したいネットワークを
選択する。

接続が完了すると WPS STATUS の表示が「OK」に変
わります。

Web メニューを使用する (PDW-700/F800 のみ)

カムコーダーをコンピューターにイーサネット接続している場合は (PDW-700/F800 のみ)、Web メニューを使用して、カムコーダーとコンピューターを Wi-Fi 接続することができます。

- ◆ イーサネット接続については、カムコーダーに付属のオペレーションマニュアルをご覧ください。

Web メニューを表示する

- 1 コンピューターとカムコーダーを LAN ケーブルで接続する。
- 2 コンピューターでウェブブラウザを起動し、「http://カムコーダー IP アドレス /」にアクセスする。

例：IP アドレスが「192.168.1.10」の場合
アドレスバーに「http://192.168.1.10/」と入力する。

接続が完了すると、[ユーザー名]と[パスワード]を入力する画面が表示されます。

- 3 [ユーザー名]と[パスワード]を入力して、OKをクリックする。

ユーザー名：	admin
パスワード：	機種名を小文字で入力

Web メニューの操作画面

Wi-Fi 接続には、Network ページと Wi-Fi ページを使用します。

Network ページ

Web メニューの Maintenance >Network をクリックして表示します。
カムコーダーの IP アドレスを確認 / 変更することができます。



IP アドレスを変更した場合は、[Execute] をクリックします。

Wi-Fi ページ

Web メニューの Maintenance >Wi-Fi をクリックして表示します。



Wi-Fi Status エリア

無線接続の状態を表示します。

Wi-Fi Settings エリア

Wi-Fi 接続に関する現在の設定を確認 / 変更して、接続を開始することができます。

項目	設定操作
SSID	接続するネットワーク名を入力する。
Search	接続先ネットワークを検索する。
Type	Wi-Fi 接続モードを選択する。 Infra：インフラストラクチャーモード Adhoc：アドホックモード
Channel	接続チャンネルを選択する。 [Type] が [Infra] の場合：auto（表示のみ） [Type] が [Adhoc] の場合：1～11ch

項目	設定操作
Authentication	暗号化の種類を選択する。
Data Encryption	WEP を設定する場合は [WEP] を選択、設定しない場合は [Disable] を選択する。
Input select	[WEP Key] の設定に応じて、ASCII または 16 進数 (HEX)、文字数 (桁数) を選択する。
WEP Key 1 ~ 4	WEP キー (ネットワークキー) を入力する。

ご注意

Windows Vista のコンピューターの場合、WEP キーは 1 のみ対応しています。必ず WEP Key 1 を使用してください。

Wi-Fi 接続を開始する

- 1 Wi-Fi ページを表示する。
- 2 Wi-Fi Status エリアで、[Wi-Fi Enable] が [Enable] になっていることを確認する。

[Disable] の場合は、カムコーダーのメニューで設定を [Enable] に変更する (6 ページ参照)。
- 3 コンピューターにアドホックモードで接続する場合は、コンピューターで接続を開始する (9 ページ参照)。無線 LAN に接続する場合は、手順 4 に進む。
- 4 Wi-Fi Settings エリアの [SSID] 欄の [Search] をクリックする。

Wireless Networks リストが表示される。



- 5 接続したい SSID (ネットワーク名または無線 LAN のネットワーク ID) をクリックして、[OK] をクリックする。

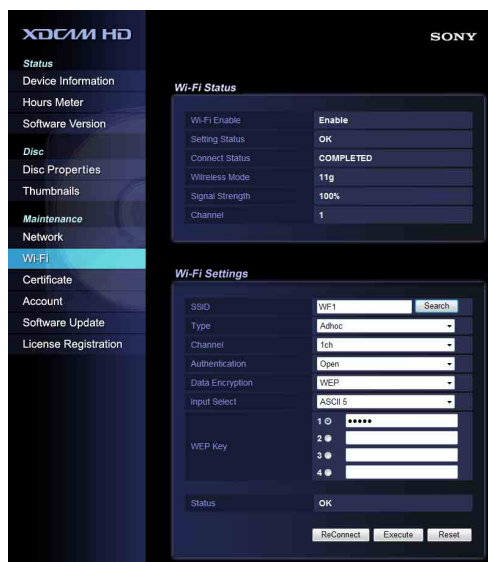
接続したい SSID が見つからないときは

[Rescan] をクリックして再検索する。それでも見つからないときは [Back] をクリックして Wi-Fi ページに戻る (次項「接続先を設定するには」参照)。

- 6 [WEP Key] 欄にネットワークキーを入力して、[Execute] をクリックし、[Reconnect] をクリックする。



接続が完了すると、Wi-Fi Status エリアに接続状態が表示される。

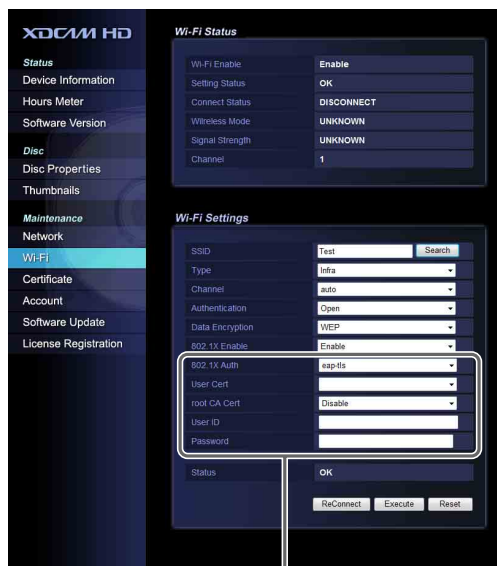


接続先を設定するには

Wireless Networks リストに接続したい SSID が表示されないときは、Wi-Fi ページで SSID と設定情報を入力して (10 ページ参照)、[Execute] をクリックし、[Reconnect] をクリックする。

IEEE 802.1x 認証を行う

IEEE 802.1x 認証を行う場合は、Wi-Fi ページで [802.1x Enable] を [Enable] に設定します。認証設定エリアが表示されます。



認証設定エリア

- ◆ 認証設定について詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

Sony Planning Metadata Add-in の操作

付属の Sony Planning Metadata Add-in を使用して、プランニングメタデータを作成、配信する操作について説明します。

で注意

- Microsoft Outlook をメールの送受信が可能な状態に設定してください。
- OPERATION メニューの 028 FILE NAMING ページで、以下の設定を行ってください。

NAMING FORM : FREE

AUTO NAMING : PLAN

028 FILE NAMING		TOP
→ NAMING FROM	:	● FREE
AUTO NAMING	:	PLAN

上記の手順は、PDW-700 を使用する場合の例です。他のカムコーダーの操作については、各カムコーダーに付属のオペレーションマニュアルまたは取扱説明書をご覧ください。

- ◆ Sony Planning Metadata Add-in のインストール方法や動作環境については、CBK-WA01 の取付説明書をご覧ください。

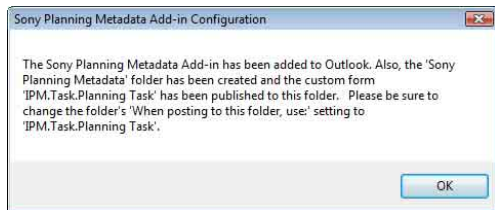
プランニングメタデータを表示する

Sony Planning Metadata Add-in をインストールしたコンピュータで、Microsoft Outlook を起動すると、[仕事] ウィンドウの中に [Sony Planning Metadata] フォルダが追加されています。

[Sony Planning Metadata] フォルダをクリックすると、Sony Planning Metadata の操作画面が表示されます（16 ページ参照）。

初めて [Sony Planning Metadata] フォルダを使用するときは

Sony Planning Metadata Add-in をインストール後、Microsoft Outlook を起動すると、次図のメッセージが表示されます。



以下の操作を行って、作業フォーマットを
IPM.Task.Planning Task に設定します。

- 1 [Sony Planning Metadata] フォルダを右クリックして[プロパティ]を選択し、[Sony Planning Metadata プロパティ]ダイアログを開く。
- 2 [このフォルダに投稿するときに使用するフォーム]リストで[IPM.Task.Planning Task]を選択し、[OK]をクリックする。

Sony Planning Metadata 操作画面

下図に Sony Planning Metadata 操作画面の例を示します。

プランニングメタデータを読み出す (18 ページ参照)

プランニングメタデータを保存する (18 ページ参照)

プランニングメタデータをメール添付で送信する (19 ページ参照)

プランニングメタデータをカムコーダーに転送する (20 ページ参照)

プランニングメタデータの転送先カムコーダーを登録する (20 ページ参照)

Sony Planning Metadata Add-in の情報を表示する

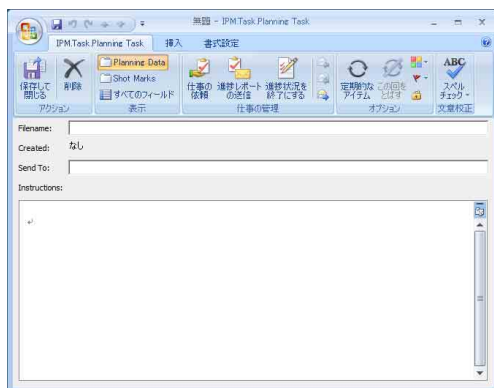
ダブルクリックして [IPM.Task.Planning Task] ウィンドウを開く (17 ページ参照)

[Sony Planning Metadata] フォルダ

プランニングメタデータを作成する

- 1 [IPM.Task.Planning Task を追加するにはここをクリック] 上をダブルクリックして、[IPM.Task.Planning Task] ウィンドウを開く。

[IPM.Task.Planning Task] タブの [Planning Data] が選択されています。



Filename: 収録する素材のファイル名を入力します。ディスクカムコーダー使用時に入力できる最大文字数は 50byte、日本語の場合約 16 文字までです。メモリーカムコーダー使用時に入力できる最大文字数は 44byte、日本語の場合約 14 文字までです。英語以外の文字も入力できます。英語のみ入力できるように設定したい場合は、ユーザー定義フィールドの [ASCII Filename] を表示します。

Created: プランニングメタデータの作成開始日が自動的に入力されます。

Send To: プランニングメタデータの送信先メールアドレスを入力します。

Instructions: メモを入力できます（最大文字数は 2048 byte、日本語の場合約 682 文字まで入力可）。英語以外の文字も入力できます。メール送信時に、ここで入力した内容がメール本文に使用されます。

- 2 ツールバー上の [保存して閉じる] ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じる。

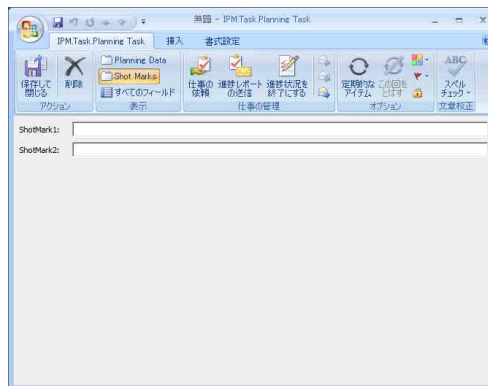
手順 1 で入力した内容が反映されたプランニングメタデータが作成され、表示されます。

ショットマーク 1、2 を設定するには

[IPM.Task.Planning Task] ウィンドウの

[IPM.Task.Planning Task] タブで [Shot Marks] をクリックします。

[ShotMark1]、[ShotMark2] 欄に、ショットマークを設定したいシーン名（例：ホームラン、ヒット）を入力します（最大文字数は 32 byte、日本語の場合約 16 文字まで入力可）。英語以外の文字も入力できます。



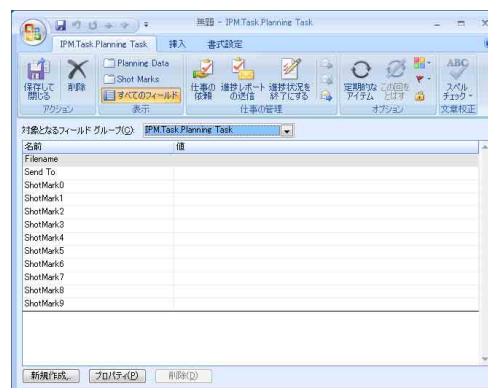
- ◆ ショットマーク 0、ショットマーク 3～9 を設定するには、次項「すべてのフィールドを表示するには」をご覧ください。

すべてのフィールドを表示するには

- 1 [IPM.Task.Planning Task] ウィンドウの [IPM.Task.Planning Task] タブで [すべてのフィールド] をクリックする。

- 2 [対象となるフィールドグループ] リストで [IPM.Task.Planning Task] を選択する。

IPM.Task.Planning Task で使用可能なフィールドが表示されます。



デフォルトの状態では、[Filename]（プランニングメタデータのファイル名）、[Send To]（プランニングメタデータの送信先）、ショットマーク 0～9 を設定できます。

ショットマーク 0～9 をすべて使用するには、USB キーボードのテンキーを使用します。

ユーザー定義フィールドを表示するには

「すべてのフィールドを表示するには」の手順 2 で [ユーザー定義フィールド] を選択します。

[ASCII Filename]、[Assignment Id]、[MediaName]などのフィールドを設定できます。

ASCII Filename：収録する素材の ASCII ファイル名（英数字のみ）

Assignment Id：プランニングメタデータ固有の ID で、プランニングメタデータの発行時（Export、Send、Save to XDCAM 実行時）に、自動的に割り当てられます。

ユーザーが独自に管理している ID を入力することもできます。

ご注意

[Assignment Id] 欄に入力がある場合は、ID の自動割り当ては行われません。

MediaName：[MediaName] のフィールドを追加して値を入力すると、ディスクのボリュームラベルを設定できます（ディスクカムコーダー使用時のみ有効）。プランニングメタデータをカムコーダーに転送し、クリップを1つ記録すると、入力した値がボリュームラベルに反映されます。

ご注意

すでにディスクのボリュームラベルが設定されている場合は反映されません。

Microsoft Outlook の機能を使用して、[ASCII Filename]、[Assignment Id]、[MediaName] などのユーザー定義フィールドを IPM.Task.Planning Task のフィールドグループに追加することができます。

任意のフィールドを追加登録するには

Microsoft Outlook の機能を使って、プランニングメタデータに任意のフィールドを追加登録できます。

- 1 すべてのフィールドを表示した状態で、[対象となるフィールドグループ] リストでフィールドのグループを選択し、[新規作成] をクリックする。

[新規フィールドの作成] ダイアログが表示されます。

- 2 [名前] 欄に追加するフィールドの名前を入力する（最大文字数は 64 byte、日本語の場合約 21 文字まで入力可）。

[値] 欄に入力できる最大文字数は 128 byte で、日本語の場合は約 42 文字まで入力できます。

ご注意

[種類] と [書式] は [テキスト] を選択してください。

- 3 [OK] をクリックしてダイアログを閉じる。

プランニングメタデータを編集するには

作成したプランニングメタデータを編集するときは、編集したいプランニングメタデータの [Filename] 欄をダブルクリックして [IPM.Task.Planning Task] ウィンドウを開きます。

プランニングメタデータを任意の場所に保存する

Export 機能を使用すると、作成したプランニングメタデータを、指定した場所に XML ファイルとして保存することができます。

- 1 保存したいプランニングメタデータの [Filename] 欄をクリックし、メニューバーの [Export] をクリックする。

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

- 2 保存先とファイル名を指定して、[保存] をクリックする。

保存先を USB メモリーに指定したときは

プランニングメタデータを USB メモリーに保存して、カムコーダーに直接読み込むことができます。プランニングメタデータは /General/Sony/Planning ディレクトリーに保存します。

ご注意

保存するファイル名を変更しても、プランニングメタデータのファイル名（Filename）は変更されません。クリップに設定されるファイル名は、[Filename] 欄に表示されている名称です。

プランニングメタデータを任意の場所から読み出す

Import 機能を使用すると、任意の場所に保存されたプランニングメタデータを読み出すことができます。

- 1 メニューバーの [Import] をクリックする

[開く] ダイアログが表示されます。

- 2 読み出したいプランニングメタデータのファイルを選択して、[開く] をクリックします。

ご注意

ファイルを読み出したとき、保存した [Send To] の設定と [Assign ID] (自動割り当てされる ID) は読み出されません。必要なら再設定してください。

プランニングメタデータをメールで送信する

Send 機能を使用すると、プランニングメタデータのファイルをメールに添付して、コンピューター間で送受信することができます。

- 1 送信したいプランニングメタデータの [Send To] 欄に送信先のメールアドレスを入力する。
- 2 送信したいプランニングメタデータの [Filename] 欄をクリックし、メニューバーの [Send] をクリックする。

[Send] ダイアログが表示され、送信が始まります。メールの送信が完了すると、ダイアログが自動的に閉じます。

送信が失敗したときは

その旨を知らせるメッセージが表示されます。[Close] をクリックしてダイアログを閉じます。

Web ページを使用してプランニングメタデータをカムコーダーに転送するには

プランニングメタデータのファイルが添付されたメールを受信したコンピューターから、Web ページを使用してカムコーダーにプランニングメタデータを転送することができます。

ご注意

ディスクカムコーダーで Live Logging が「View」に設定されている場合、この機能は使用できません。Live Logging の設定を「Live」または「Off」に変更してください。また、ピクチャーキャッシュモード時やサムネイルの表示中も、この機能を使用できません。

コンピューターとカムコーダーを接続しているときは、プランニングメタデータを /General/Sony/Planning ディレクトリに格納することもできます。

- 1 受信側コンピューターで、プランニングメタデータを任意の場所に XML ファイルとして保存する。
- 2 受信側コンピューターとカムコーダーを Wi-Fi 接続する。

- 3 受信側コンピューターで、ウェブブラウザを起動し、「http://カムコーダー IP アドレス /mobile.htm」にアクセスする。

例：IP アドレスが「192.168.1.10」の場合

アドレスバーに「http://192.168.1.10/mobile.htm」と入力する。

接続が完了すると、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

- 4 ユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックする。

ユーザー名：

admin

パスワード：

機種名を小文字で入力

[Planning Metadata] ページが表示されます。



[Planning Metadata] ページの例
(ディスクカムコーダー使用時)

- 5 [参照...] をクリックして、[ファイルの選択] ダイアログを表示する。

- 6 手順 1 で保存したプランニングメタデータの XML ファイルを選択し、[開く] をクリックする。

[File to send] 欄に、選択したファイルのパスが表示されます。

- 7 [Execute] をクリックする。

プランニングメタデータがカムコーダーに転送され、/General

/Sony/Planning ディレクトリに格納されます。

転送が完了すると [Status] 欄に [OK] が表示されます。

プランニングメタデータをカムコーダーに転送する

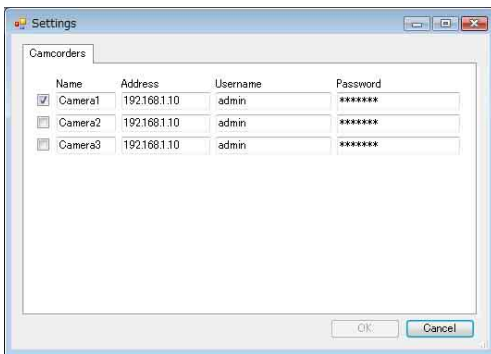
Save to XDCAM 機能を使用すると、コンピューターからカムコーダーにプランニングメタデータを転送することができます。

あらかじめ転送先カムコーダーの IP アドレス、ユーザー名、パスワードを登録しておきます。

コンピューターとカムコーダーを接続しているときは、プランニングメタデータを /General/Sony/Planning ディレクトリーに格納することもできます。

転送先を登録するには

- 1 メニューバーの [Settings] をクリックして、[Settings] ダイアログを開く。



- 2 [Camera1] の [Address]、[Username]、[Password] 欄に、接続先のカムコーダーの IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力する。
- 3 必要なら他のカムコーダー（またはカメラ）の IP アドレス、ユーザー名、パスワードを [Camera2]、[Camera3] の [Address]、[Username]、[Password] 欄に入力する。
- 4 転送先カムコーダーにチェックを付ける（複数選択可）。

メモ

カムコーダーの名前（Camera1、Camera2、Camera3）を変更することもできます。

- 5 [OK] をクリックしてダイアログを閉じる。

プランニングメタデータを転送するには

- 1 受信側コンピューターとカムコーダーを Wi-Fi 接続する。

ご注意

複数のカムコーダーにプランニングメタデータを転送するときは、アクセスポイントを介してコンピューターとカムコーダーをネットワーク接続してください。（コンピューターとカムコーダーで LAN を構成してください。）

- 2 送信したいプランニングメタデータの [Filename] 欄をクリックし、メニューバーの [Save To XDCAM] をクリックする。

[Save To XDCAM] ダイアログが表示され、転送が始まります。

転送が完了し、カムコーダーにプランニングメタデータがロードされると、ダイアログが自動的に閉じます。

転送が失敗したときは

その旨を知らせるメッセージが表示されます。[Close] をクリックしてダイアログを閉じます。

トラブル時の対処

以下のような状況で、不具合が発生した場合の対策について説明します。

- 無線（Wi-Fi）接続しようとしているとき（21 ページ参照）
- Web メニュー（ページ）の使用時（23 ページ参照）
- Sony Planning Metadata Add-in の使用時（24 ページ参照）
- ライブログGING接続しているとき（24 ページ参照）
- その他（24 ページ参照）

ご注意

- 本機と無線 LAN アクセスポイントまたはコンピューター間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、通信可能距離が短くなったり、接続できなくなることがあります。本機を場所を移動したり、本機とアクセスポイントまたはコンピューター間の距離を近づけて、接続 / 通信状態を確認してください。
- ここで説明しているトラブル時の対処は、PDW-700/F800 を使用している場合の操作例です。

無線（Wi-Fi）接続時

問題	対策
カムコーダーが本機を認識しない。	本機の USB ケーブルがカムコーダーの USB 端子に確実に接続されているか確認してください。
本機の青色 LED が光っていない。	カムコーダーの OPERATION メニュー >POWER SAVE ページで次の設定を行ってください。 ETHERNET/USB : ENABL Wi-Fi : ENABL POWER SAVE ページに Wi-Fi の項目が表示されていない場合は、インストールキーが入っていないため、本機は使用できません。
ネットワークを設定しようとすると「NO Wi-Fi ADAPTER!」と表示される。	USB ケーブルが正しく接続されているにもかかわらずこのメッセージが表示された場合、本機が故障している可能性があります。すぐに使用を中断し、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
アダプター接続時に「Unknown USB」と表示される。	他社の USB 接続無線 LAN アダプターを接続すると表示されます。XDCAM カムコーダーで利用できるのは無線 LAN アダプター CBK-WA01（本機）のみです。

問題	対策
コンピューターとカムコーダーが接続されない。a)	<p>カムコーダーとコンピューターの IP アドレスを確認してください。同じ IP アドレスになっていると接続されません。</p> <p>設定例： カムコーダーの IP アドレスが 192.168.1.10 の場合 ↓ コンピューターの IP アドレスを 192.168.1.100 にする。 サブネットマスクはいずれも 255.255.255.0 に設定する。 ◆IP アドレスの設定については、7 ページまたは 8 ページをご覧ください。</p>
	<p>コンピューターのネットワーク接続一覧に、本機と接続するためのネットワーク名称（SSID）が表示されているか確認してください。</p> <p>表示されている場合：本機は正常に動作しています。接続できない原因はコンピューター側にありますので、コンピューターの設定を確認してください。</p> <p>表示されていない場合：本機から電波が出ていません。</p> <p>◆「カムコーダーを Wi-Fi 接続できるように設定する」（6 ページ）の手順にしたがって操作し、本機から電波が出るようにしてください。</p>
	<p>カムコーダーの無線接続の状態を次のように確認してください。 LCD モニターの Wi-Fi ステータス表示（10 ページ参照）を確認します。</p> <p>表示されていない場合 カムコーダーは無線接続を行っていません。他の対策をご覧ください。</p> <p>表示されている場合 点滅状態になっていないか確認してください。</p> <p>点滅状態（ステータス 3）の場合：カムコーダーは無線接続動作を実行中です。 その状態が長く続く場合は、接続先コンピューターが見つからないか、接続のコンピューターとカムコーダーの設定が合っていない状態です。カムコーダーとコンピューターの設定を確認してください。</p> <p>点灯状態（ステータス 4）の場合：無線接続が完了しました。 この状態で、アプリケーション（Sony Planning Metadata Add-in やライブロギング機能）が動作しない場合は、「カムコーダーを Wi-Fi 接続できるように設定する」（6 ページ）の手順を確認してください。</p>
アクセスポイントと接続されない。a)	<p>カムコーダーとアクセスポイントの IP アドレスを確認してください。同じ IP アドレスになっていると接続されません。</p> <p>設定例： カムコーダーの IP アドレスが 192.168.1.10 の場合 ↓ アクセスポイントの IP アドレスを 192.168.1.100 にする。 サブネットマスクはいずれも 255.255.255.0 に設定する。 ◆IP アドレスの設定については、7 ページまたは 8 ページをご覧ください。</p> <p>カムコーダーの NETWORKS ページに、接続したい SSID が表示されているか確認してください。</p> <p>表示されている場合：接続したい SSID を選択し、9 ページの手順にしたがって接続を行ってください。</p> <p>表示されていない場合：アクセスポイントの電波を検出できていません。カムコーダーの MAINTENANCE メニュー >Wi-Fi ページの SCAN NETWORKS を実行してください。それでも表示されない場合は、アクセスポイントが電波の届かない位置にあるか、他の電波に妨害されている可能性があります。アクセスポイントの位置を変えてみてください。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> MAINTENANCE メニュー >Wi-Fi ページの Wi-Fi SETTING ページで、ENCRYPTION（データの暗号化）、NETWORK KEY（ネットワークキー）を、カムコーダーとアクセスポイントで同じ設定にしてください。 コンピューターの OS が Windows Vista の場合、WEP キーインデックスは 1 に固定されています。アクセスポイント、カムコーダーの WEP キーインデックス（WEP KEY INDEX）も 1 に設定してください。

問題	対策
公衆ワイヤレス LAN のアクセスポイントに接続する方法がわからない。	本機は、公衆無線 LAN アクセスポイント接続には対応していません。

- a) 正常に接続されているかどうかは、LCD モニターの Wi-Fi ステータスの表示を確認する（10 ページ参照）。
ステータス 4 になっていれば接続できている。

Web メニュー（ページ）の使用時

問題	対策
Web メニュー（ページ）が表示されない。	<p>カムコーダーとコンピューターがネットワーク接続されているか確認してください。</p> <p>コンピューターとカムコーダーの IP アドレスを確認してください。また、サブネットマスクが同じ値になっているか確認してください。</p> <p>設定例： カムコーダーの IP アドレスが 192.168.1.10 の場合 ↓ アクセスポイントの IP アドレスを 192.168.1.100 にする。 下線部以外を同じ数値にする。 サブネットマスクはいずれも 255.255.255.0 に設定する。 ◆ IP アドレスの設定については、7 ページまたは 8 ページをご覧ください。</p> <p>MAINTENANCE メニュー > Wi-Fi ページの Wi-Fi SETTING ページで、KEY（ネットワークキー）の設定を確認してください。</p> <p>カムコーダーの無線接続の状態を次のように確認してください。 LCD モニターの Wi-Fi ステータス表示（10 ページ参照）を確認します。</p> <p>表示されていない場合 カムコーダーは無線接続を行っていません。他の対策をご覧ください。</p> <p>表示されている場合 点滅状態になっていないか確認してください。 点滅状態（ステータス 3）の場合：カムコーダーは無線接続動作を実行中です。 その状態が長く続く場合は、接続先コンピューターが見つからないか、接続のコンピューターとカムコーダーの設定が合っていない状態です。カムコーダーとコンピューターの設定を確認してください。 点灯状態（ステータス 4）の場合：無線接続が完了しました。 この状態で、アプリケーション（Sony Planning Metadata Add-in やライブロギング機能）が動作しない場合は、「カムコーダーを Wi-Fi 接続できるように設定する」（6 ページ）の手順を確認してください。</p> <p>近くに 2.4GHz 周波数帯を使用した機器がないか確認してください。 電子レンジや Bluetooth® など、2.4GHz 帯の周波数を使用する機器を周辺で使用していると、接続されにくい場合があります。それらの機器から離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。</p>
アップロードを実行するとエラーが出る。	<p>カムコーダーの Live Logging Mode の設定が「View」になっていたら、「OFF」または「LIVE」に変更してください。</p> <p>カムコーダーがサムネイルモードになっていたら解除してください。</p> <p>カムコーダーでメニューを表示している場合は、メニューを消してください。</p> <p>カムコーダーがピクチャーキャッシュモードになっている場合は解除してください。</p> <p>カムコーダーにディスクが入っていない場合はディスクを挿入する。また、ディスクがライトプロテクトされている場合は解除してください。</p>

Sony Planning Metadata Add-in の使用時

問題	対策
Save to XDCAM を実行するとエラーが出る。	カムコーダーとコンピューターがネットワーク接続されているか確認してください。
	カムコーダーでメニューを表示している場合は、メニューを消してください。
	カムコーダーがピクチャーキャッシュモードになっている場合は解除してください。
	カムコーダーに記録メディアが入っていない場合は記録メディアを挿入する。また、記録メディアがライトプロテクトされている場合は解除してください。
	Sony Planning Metadata Add-in の [Settings] ダイアログを開き、登録内容が正しいか確認してください（20 ページ参照）。
	Sony Planning Metadata Add-in の [Settings] ダイアログを開き、いずれかのカムコーダーにチェックが付いているか確認してください（20 ページ参照）。

ライブロギング接続時

問題	対策
ログインできない。	カムコーダーとコンピューターがネットワーク接続されているか確認してください。
	ディスクカムコーダーの Live Logging Mode の設定が「OFF」になっていたら、「VIEW」に変更してください。
	ディスクカムコーダーがサムネイルモードになっていたら解除してください。
	他の人がログインしていないか確認してください。
	登録した接続先の IP アドレス、ユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。
プロキシ再生が中断する。	近くに 2.4GHz 周波数帯を使用した機器がないか確認してください。 電子レンジや Bluetooth® など、2.4GHz 帯の周波数を使用する機器を周辺で使用していると、十分な転送速度が得られず、再生が止まることがあります。それらの機器から離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。
	近くに同じ周波数帯の電波がないか、コンピューターとカムコーダーの距離が遠すぎないか確認してください。同じ周波数帯の電波があったり、コンピューターとカムコーダーの距離が遠いと、十分な転送速度が得られず、再生が止まる場合があります。
プロキシ画が表示されない。	カムコーダーの Live Logging Mode の設定が「LIVE」になっていないか確認してください。設定が「LIVE」の場合、メタデータのみの転送が行われでプロキシ画のデータは転送されません。設定を「VIEW」に変更してください。

その他

問題	対策
Web メニューからクリップのメタデータファイル (XML) を、FTP でダウンロードするとき、ウェブブラウザによっては、ファイルの内容が表示されることがある（ディスクカムコーダー使用時のみ）。	メタデータファイルを右クリックして、ポップアップメニューでファイルの保存を実行してください。
Web メニューからクリップをダウンロードする操作を中断すると、カムコーダーの LCD モニターに「Network」が表示されたままになる（ディスクカムコーダー使用時のみ）。	ウェブブラウザを閉じるか、Web メニューの [Disc Properties] を選択してください。
コンピューターの OS が Windows Vista の場合に、カムコーダーで WEP KEY INDEX（WEP キーインデックス）を 1 以外に設定すると接続できない。	コンピューターの OS が Windows Vista の場合、WEP キーインデックスは 1 に固定されています。カムコーダーの WEP KEY INDEX も 1 に設定してください。

